

区政運営 住民に身近で質の高い行政サービスの提供

区民のニーズを捉えて日々の業務を改善し、皆さんにとってより身近で利用しやすく、質の高い行政サービスを提供する取り組みを行います。

情報発信・魅力発信



区公式
ウェブサイト



熱田保健センター



区公式 X



市公式 LINE (※)

<魅力スポットの一部紹介>



宮の渡し公園



白鳥庭園



断夫山古墳

熱田ブランド+ (プラス)
Instagram

※ 友だち登録後、トーク画面から「受信設定」を開き
「各区からのお知らせ」で「熱田区」を登録！

市民課窓口混雑状況の配信

市民課の窓口における待ち
人数を、スマートフォンな
どで確認できます。

▶詳しくは
こちら



区まちづくり基金のご案内

区民の皆さまや区にゆかりのある方の、区のまちづくりへの想いを活かすための基金です。

いただいた寄附金は熱田区のまちづくり事業に活用していきます。
基金に関する詳細は、右の二次元コードからご覧いただけます。

お問い合わせなど

詳しい内容は、区公式ウェブサイト、区役所1階情報コーナー、区内コミュニティセンターでご覧いただけます。

熱田区役所 企画経理課

電話：052-683-9688 ファックス：052-682-1496

Eメール：a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp



▲区まちづくり
基金



▲詳しくは
こちら

令和8年度 熱田区区政運営方針（案）

概要版

皆さまのご意見をお寄せください

令和8年度に区で取り組む具体的な内容をまとめた区政運営方針（案）を策定しました。ご意見やご提案をお寄せください。

基本
方針

住みたくなるまち 訪れたいまち あつたか熱田

— 将来像 1 —

安心・安全で快適に暮らせるまち



— 将来像 2 —

— 将来像 2 —

人が支え合い、自分らしく暮らせるまち



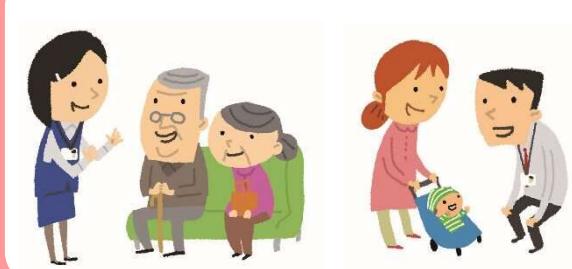
— 将来像 3 —

生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち



— 区政運営 —

住民に身近で質の高い行政サービスの提供



募集方法

「ご意見・ご提案用紙」にご記入のうえ、郵便、ファックス、Eメールでお送りください。（任意の様式でも構いません。）

【募集期間】 令和8年3月6日（金曜日）まで

【ご送付先】 热田区役所 企画経理課

【郵便】 〒456-8501 ※郵便番号のみで届きます。

【ファックス】 052-682-1496

【Eメール】 a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp

熱田
つま
君



令和8年度 熱田区が取り組む主な事業予定

将来像1 安心・安全で快適に暮らせるまち

犯罪や交通事故の抑止、地域防災力の向上、まちの環境美化を推進し、区民の皆さまが不安なく安心・安全で快適に暮らせるまちをめざす取り組みを行います。

地域における「防災人財」の育成



- 幅広い世代の方に防災への关心や知識を持ってもらえるよう各種訓練や啓発活動を実施します。

自主防災組織の育成支援



- 大規模災害発生に備えた自助力・共助力の向上を目的とし、自主防災訓練の実施を促します。

将来像3 生きがいや活力を感じ、魅力あふれるまち

学びを通じた生きがいづくりや区民相互の交流を深める地域活動、熱田の観光資産を活かしたまちづくりを通じて、魅力あふれるまちをめざす取り組みを行います。

地域活動の支援



- 学区や町内会が行う地域活動を支援するとともに、多様な人や団体の地域活動への参加を促します。

魅力発信・にぎわい創出



- 区の名所等をバスや船で巡る「あつたか！あつた魅力発見市」等を実施し、区の魅力を発信します。

将来像2 人が支え合い、自分らしく暮らせるまち

子どもから高齢者、障害のある方など、地域のさまざまな人が交流と支え合いを通じて、いきいきと自分らしく暮らせるまちをめざす取り組みを行います。

子育て支援

- あつた子育て応援ポータルサイト「あつた子育てねっと」を広く周知し、子育ての情報発信を行います。



▲あつた子育てねっと

ダブルケア支援



- 子育てと介護のダブルケアの当事者向け相談会（ダブルケアカフェ）
 - 支援者向け研修を行います。

高齢者向け 安否確認付き配食サービス試食会



▲熱田区
地域包括
ケア
公式×

障害児保育連絡会での支援

- 育ちに不安のある乳幼児とその家族を取り巻く課題や解決について関係機関と検討協議し、支援を進めます。

地域福祉活動の支援



▲熱田区
社会福祉
協議会
公式ウェブ
サイト

- ふれあい・いきいきサロンの開設
 - 運営支援や地域支えあい事業にかかる人材育成を行います。

「障害」への理解促進



- 授産製品販売やヘルプカードの説明・配布等を通じて、障害への理解のきっかけづくりを行います。



- 民間スポーツ施設と連携し、無理なく運動を始めるきっかけを提供します。

日常生活に運動習慣を！